

## ◆◆◆ 新着資料の紹介 ◆◆◆

# た み や と し お 田宮利雄資料

～ 鉄道に生き・文学を夢見た男の記録～

令和元年度もたくさんの方々から貴重な資料のご寄贈がございました。順次、保存活用のために目録等の整備作業を進めています。

今回はその中から、「田宮利雄資料」の一部を紹介します。

田宮利雄は、昭和2年(1927)1月8日、神宮寺の商家(伝野家)に生まれ、平成27年(2015)8月2日、88歳で亡くなります。昭和18年(1943)12月に秋田県立大曲農業学校を繰り上げ卒業し、昭和19年(1944)1月6日、国有鉄道(後の国鉄)に勤務します。

文才に優れた彼は、国鉄入社後も文学を志しますが、仕事と家族を優先し文学の道をあきらめます。しかし、彼の才能は秋田の鉄道文化を後世に伝えることに大いに活かされることとなります。

彼は若き日、神宮寺駅長になることを夢見ていましたが、秋田鉄道

管理局総務部に配属され、「秋田鉄道管理局史」の編さん、機関紙「秋鉄」や広報誌「秋鉄ニュース」の編集に携わり、後に秋田の鉄道の歴史と文化を伝える数々の著作をとおして、秋田の鉄道文化を後世に伝えることに足跡を残しています。

資料は、秋田県立博物館のご紹介で田宮の娘さん(埼玉県在住)から、当館にご寄贈いただいたものであり、生涯を鉄道文化の研究にささげた田宮利雄を偲ぶことのできる貴重な記念切符や写真、著作など9245点で構成されています。

今回は彼が残した資料の一部の展示ですが、忘れ去られた秋田の鉄道の歴史として、皆さんの回想の手助けになることを期待します。

### 経 歴

- 1944年 国有鉄道 試雇・秋田車掌区 車掌見習い
- 1946年 秋田管理部総務課労働係
- 1956年 結核治療のため、宮城県の船岡鉄道病院へ入院
- 1960年代後半 秋田鉄道管理局総務部文書課
- 1969年 昭和天皇・皇后が秋田農業大博覧会に来秋、山岸秋鉄局長の随員としてお召し列車に同乗
- 1970年代後半 秋田鉄道学園長
- 1982年 秋田鉄道管理局経理部調度課長で退職
- 1993年以降 秋田県生涯学習センター講師
- 1997年 第14回秋田市文化選奨受賞

### 著 作

- 『秋田ローカル線今昔』、『秋田鉄道100話』、『雪国SL物語』、『発車線春秋』
- 『あきた文学風土記』、『あきた鉄道史ノート』、『「こまち」出発進行』ほか多数。

# 伝野家と少年時代

田宮利雄はもともと神宮寺の伝野家出身です。伝野家は神宮寺で商店を営んでいました。子どもの頃の日記や後年にまとめた覚書によって、伝野家での暮らしの様子が詳細に記録されています。

伝野少年は尋常小学校時代や秋田県立大曲農業学校（現在の県立大曲農業高等学校）時代には長期休みの日記を付けています。家の手伝いや勉強への取組み、戦争に関する記述など、戦時中の子どもたちの生活をいきいきと今に伝えています。

また、覚書ではルーツとしての伝野家の家系を調べてノートにまとめています。また、子ども時代から国鉄時代までの半生を振り返り、学生時代にのみ・しらみと格闘した経験や、国鉄入社の経緯などを記しています。

それによると、鉄道技師であった父親が、子どもの誰かにあとをついでほしいと希望していることを知り、父のつてもあったため、戦時中の特令により昭和18年末に大曲農業学校を早く卒業すると、のちの国鉄に入社したことがわかります。



① 冬休み日記帳 1月1日～1月25日（昭和13年）

② 夏期心身鍛練日誌 自七月二十七日至八月三十日（昭和14年）



③ おぼえ書き帳 わが人生の航路 No. 3（昭和19～29年）

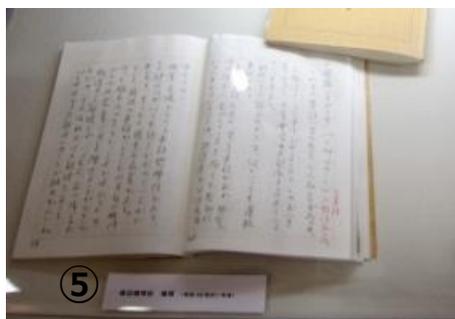
④ おぼえ書き帳 わが人生の航路 No. 7（昭和57～62年）

# 田宮利雄と執筆活動

国鉄職員となった田宮青年は、少年時代から夢見ていた執筆活動をアマチュアとしてスタートさせます。国鉄労働組合や秋田鉄道管理局の機関誌などに戯曲や文芸評論、随筆などさまざまな原稿を投稿しています。小説を文芸誌の賞に応募するほど熱心に活動していたようです。

仕事としても、30代になって秋田鉄道管理局総務部文書課に配属されると、機関誌の編集担当となり、執筆活動で培われた腕をふるっています。退職後には外郭団体である秋田鉄道新聞社の編集長としても活躍しました。編集担当時代に写真撮影をまかされ、以後、鉄道に関する写真を多く残しています。これらの写真は、まだカメラが普及していない時代の貴重な鉄道資料となっており、鉄道写真集や著書にも多く掲載されています。

昭和62年（1987）の国鉄分割民営化に伴い、秋田鉄道新聞社を退社したあとは、鉄道関連の著書だけではなく、養母が最後の川反芸者だったことから秋田の芸妓についての著書を発表するなど、より広い分野で作家活動を展開しました。



⑤ 身辺歳時記 雑項  
(昭和 40 年代～平成)



⑥ 戯曲”落日”について  
『秋労』第 6 号  
(昭和 29 年 12 月 10 日発行)



⑦ ああ、わが青春の流転録  
『秋鉄ペン』第 9 号 終戦 30 年記念特別号  
(昭和 50 年 8 月 15 日発行)

⑧ 秋文だん史 (三)  
〈戦後におけるわが周辺と文芸人群像〉  
『秋鉄ペン』第 3 号  
(昭和 47 年 8 月 31 日発行)



- ⑨ 記念乗車券・記念入場券（スクラップブック）（昭和63年4月28日整理）
- ⑩ 裏縦貫鈍行廃止記念（切符）（昭和38年4月19日）
- ⑪ 羽越線，白新線電化開通 記念入場券（昭和47年10月2日）
- ⑫ 秋田新幹線こまち（開通記念オレンジカード）（平成9年3月22日）
- ⑬ 後三年の役九百年まつり 記念入場券（昭和62年8月10日）



- ⑭ 奥羽本線秋田・青森間電化開通 鉄道管理局（昭和46年10月1日）
- ⑮ 奥羽本線秋田・青森間電化開通式招待者名簿 鉄道管理局（昭和46年10月1日）
- ⑯ EXPO'85 サイエンストレイン エキスポ号 乗車記念証（昭和59年）
- ⑰ 開局20周年記念行事 職場見学（チラシ）（昭和45年9月4日～6日）
- ⑱ 田沢湖線全通記念急行券（切符）（昭和41年10月20日）





踏切警手 (第1種) 昭和30年代



SL時代の乗務員 (年代不詳)



昭和33(1958)年9月 大曲駅



昭和33(1958)年9月 生保内線車内 かつき屋さんの荷物で通路いっぱい



昭和47(1972)年10月2日 羽越線電化開通 特急「いなほ」出発式



五能線 SLの炭ならし (昭和48年1月15日)



昭和59(1984)年10月20日 イベント列車「エキスポ号」～国鉄土崎工場で製造～



昭和60(1985)年10月14日 洋風列車「エレガンス・アッキー」出発式 (秋田駅)